



つるよん

2024年2月29日
町田市立鶴川第四小学校
校長 悴田 隆良

プロフェッショナル

校長 悴田 隆良

展覧会、校外学習、学校公開、移動教室…等々と過ごしているうちに、いつの間にか1月が行ってしまい、あっという間に2月が逃げていき、間もなく3月になります。子供たちは今の学年の仕上げをして、4月に進級する心構えをする毎日です。そのために一日一日を大切に過ごしています。

先日、バスで校外学習に出かけました。バスの運転手さんは少し年配の方で、出発前、私たちに「安全運転に努めます」と挨拶されました。そして予定通りに学校を出発したのですが、途中の高速道路が渋滞。このままでは現地到着が30分ぐらい遅れるかもしれないと思われる状況になりました。私を含め、引率の教員がざわざわしている中、バスは時折、車線変更をしながら進んでいきます。けっしてスピードを出すわけでもなく、無理に割り込んでいく運転でもありません。それなのに周囲の車よりも確実に早く前に走っているのです。結果、予定の時刻ほぼピッタリに到着することができました。何か魔法にでもかかったようでした。私は、この時に「さすがプロだなあ」と感服しました。

“プロフェッショナル”とは、『専門的な仕事に従事し、その能力が高く、その仕事の技術に優れ、確かな仕事をする人』『ある分野について、高い能力や高い技術を有し、質の高い仕事をする人』『自分の職業であるとの強い自覚をもって、それに打ち込む人』を意味しています。バスの運転手さんは、これまでの長い経験から、その日の混雑状況や道路地図などを考え合わせて判断しながら、安全を確保しつつも予定の到着時刻に近づける運行に尽力したのだと思います。

経験値の高さは仕事をする上で大きな力になります。しかし、それは一朝一夕に得られるものではありません。また、それに甘んじてしまえば慢心を生み、進歩や改善ができなくなります。私たち教員も「教育のプロ」「指導のプロ」と言われます。それに恥じないよう、意識が高い教員となること、新たな人材の育成に取り組むことによって、プロフェッショナルな教師集団をつくりたいと強く思います。

3月の行事予定

今月の生活目標 ◎心をこめてきもちのよいあいさつをしよう。
○使った教室をきれいにしよう。

| 日付 | 曜日 | | 下校 | | | | | |
|----|----|---------------------------------------|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
| 1 | 金 | 6年生を送る会(1校時) 保護者会(ど・か) | | | | | | |
| 2 | 土 | | | | | | | |
| 3 | 日 | | | | | | | |
| 4 | 月 | 委員会 | | | | | | |
| 5 | 火 | 保護者会(5・6年) | | | | | | |
| 6 | 水 | 午前授業 心のアンケート | | | | | | |
| 7 | 木 | 安全指導 | | | | | | |
| 8 | 金 | 保護者会(1・2年) | | | | | | |
| 9 | 土 | | | | | | | |
| 10 | 日 | | | | | | | |
| 11 | 月 | 保護者会(3・4年) | | | | | | |
| 12 | 火 | サポートルーム個人面談 | | | | | | |
| 13 | 水 | 午前授業 | | | | | | |
| 14 | 木 | | | | | | | |
| 15 | 金 | サポートルーム個人面談 | | | | | | |
| 16 | 土 | | | | | | | |
| 17 | 日 | | | | | | | |
| 18 | 月 | サポートルーム個人面談終 | | | | | | |
| 19 | 火 | 特別時程 午前授業(1~4年) 卒業式予行13:20 給食終 | | | | | | |
| 20 | 水 | 春分の日 | | | | | | |
| 21 | 木 | 特別時程 午前授業(5年生以外3時間授業) 卒業式準備(5年4校時、職員) | | | | | | |
| 22 | 金 | 卒業式 | | | | | | |
| 23 | 土 | | | | | | | |
| 24 | 日 | | | | | | | |
| 25 | 月 | 修了式 大掃除 特別時程 | | | | | | |
| 26 | 火 | 春季休業日始 | | | | | | |
| 27 | 水 | | | | | | | |
| 28 | 木 | | | | | | | |
| 29 | 金 | | | | | | | |
| 30 | 土 | | | | | | | |
| 31 | 日 | | | | | | | |

防犯の観点から、下校時刻は載せていません。下校の見守り等で知りたい方は学校までご連絡ください。

令和5年度保護者による学校評価について

校長 悴田隆良

本校では保護者の皆様の評価・ご意見をもとに、教育活動の一層の充実を図るため、学校評価をお願いいたしました。ご協力に深く感謝申し上げます。本紙内面に集計結果のグラフ、お寄せいただいたご意見と学校からの回答を載せました。いただいたご意見等につきましても、真摯に受け止め、子供たちのためにより良い学校づくりを目指して全教職員で努力してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年度在籍児童数調査

調査へのご協力、ありがとうございました。今後、ご回答された内容に変更が生じた(転学が伴う・伴わないに関わらずお引越を考えている、急に転勤することになったけど時期は未定など)場合には、なるべく早く学校までお知らせください。ご協力よろしくお願い申し上げます。

tetoru(テトル)について

町田市では、令和6年度4月より学校配信メール「すぐメール」が廃止され、学校・保護者間連絡システムアプリtetoru(テトル)に切り替わります。先日児童一人一人に登録用紙を配布いたしました。アプリの登録期限は3月28日までとなっておりますので、期限内に登録を済ませるようよろしくお願いいたします。6年生におかれましても、卒業アルバムの配布についてなど4月以降に学校から連絡をすることが考えられますので、登録するようお願いいたします。

本アプリを使用することによって、メール機能に加え、保護者からの欠席連絡の受付や学校からの文書配信ができるようになります。アプリによる欠席連絡に関しては3月4日の開始を予定しております。以降も従来通りのフォームや電話での欠席連絡を受け付けますが、なるべく早くtetoruへ切り替えるようご協力をお願いいたします。

町田市共通の評価項目 回答集計結果

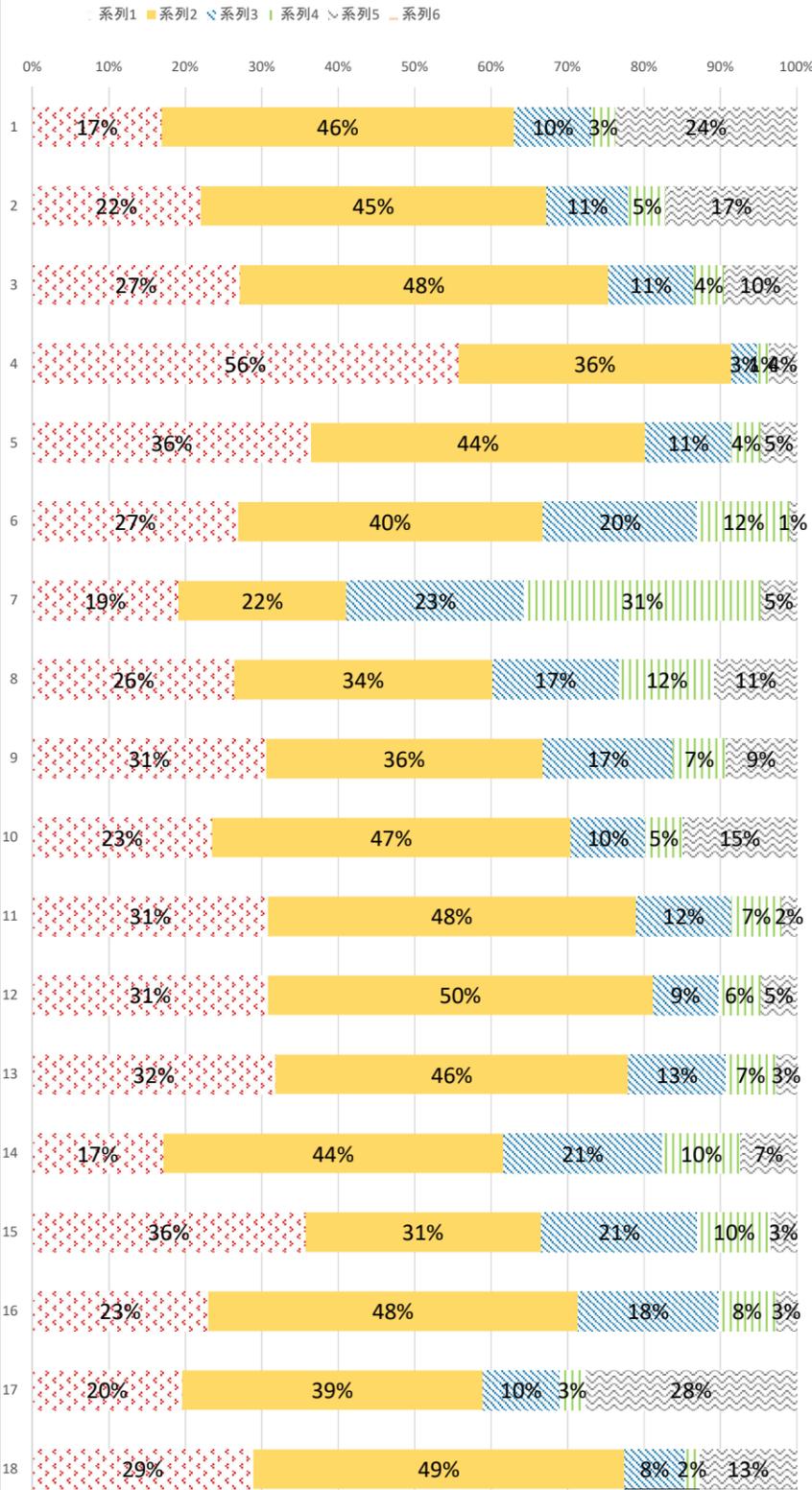
| | |
|-------|-------------|
| 学校番号 | 026 |
| 学校名 | 町田市立鶴川第四小学校 |
| 実施年月日 | 2023年11月1日 |

| | | | | | | |
|-----------|------------------------|-------------------------------|-----------------|----------------------|---------------------------------------|-----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6※ | 合計 (人) |
| 1 そう思う | 2 どちらか かといえ ば | 3 どちらか かわない といえ ば | 4 そう 思わない | 5 無 回答、 その他 | 6※ I 2 (4)の み に な い | |

| | | | | |
|-----|-----|-------|-------|--------|
| 配布数 | 回収数 | 回収率 | 記名回答数 | 記名回答率 |
| 492 | 409 | 83.1% | 409 | 100.0% |

| 共通の評価項目 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6※ | 合計 (人) |
|---------------------------|---|---|-----|-----|----|-----|-----|-----------|
| (1) 学校やお子様の様子などからご回答ください。 | ア 社会現に 関かす たこ教 と育 課程 の | ①学校は、地域人材を積極的に活用した教育活動を行っている | 69 | 189 | 41 | 13 | 97 | 409 |
| | | ②学校は地域と一体となって子どもたちを育てている。 | 90 | 185 | 44 | 20 | 70 | 409 |
| | | ③学校は、保護者や地域の方に対して情報発信をしている。 | 111 | 197 | 46 | 16 | 39 | 409 |
| | | ④学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している。 | 228 | 146 | 14 | 6 | 15 | 409 |
| | イ 確かな 学力の 育成に 関する こと | ①お子様は、各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている。 | 149 | 179 | 46 | 16 | 19 | 409 |
| | | ②お子様は、宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。 | 110 | 163 | 83 | 49 | 4 | 409 |
| | | ③お子様は、学校ですすんで読書をしている。 | 78 | 90 | 95 | 127 | 19 | 409 |
| | | ④お子様は、英語学習に楽しく取り組んでいる。 | 108 | 138 | 68 | 51 | 44 | 409 |
| | | ⑤お子様は、ICT(学習機器)を積極的に活用している。 | 125 | 148 | 70 | 28 | 38 | 409 |
| | ウ 豊かな 心の涵 養(心 の教育 及び生 活 こと | ①学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、子供の人権を大切にしている。 | 96 | 192 | 40 | 20 | 61 | 409 |
| | | ②お子様は、学校のきまりや家庭でのきまりを守っている。 | 126 | 197 | 51 | 27 | 8 | 409 |
| | | ③お子様は、あいさつをきちんとしている。 | 126 | 206 | 35 | 23 | 19 | 409 |
| | | ④お子様は、交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている。 | 130 | 189 | 52 | 27 | 11 | 409 |
| | | ⑤お子様は、ICT(学習機器)、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている。 | 70 | 182 | 85 | 42 | 30 | 409 |
| | エ の工 育 成 健 に 関 か す 体 こと | ①お子様は、日常的に、運動やスポーツ(遊びや部活動を含む)に積極的に取り組んでいる。 | 146 | 126 | 84 | 39 | 14 | 409 |
| | | ②お子様は、食に関する知識や望ましい食習慣、生活習慣が身に付いている。 | 94 | 198 | 75 | 31 | 11 | 409 |
| | フ いつじ いて 2 いて ご保 回校 護 答の 者の だ状 さ等 がに 感 | ①学校は、真光寺中学校と連携して教育活動に取り組んでいる。 | 80 | 161 | 41 | 14 | 113 | 409 |
| | | ①学校は、校内整備や校内美化に取り組んでいる。 | 118 | 199 | 32 | 8 | 52 | 409 |

保護者向けアンケート「共通の評価項目」集計結果グラフ



保護者からの主なご意見とそれに対する学校からの回答

タブレットを使用した学習について
 ・ナビマの精度が低いいため、児童の学習意欲を削ぐことになっている。
 ・デジタルのメリットとアナログのメリットを考えて学習に生かしてもらいたい。
 (学校からの回答)今年度は町田市の方針としてナビマを利用していたが、来年度は変更される予定です。個別最適な学習を進める中で、デジタルの良い面は積極的に使っていきたいと思いますが、デジタルありきではなく、個々の学習内容によって何がベストの方法であるのかを検討しながら日々の学習を進めていきます。

〇学校からの連絡について
 ・行事の連絡をもう少し早く、学年ごとにしてもらいたい。
 ・学校からの連絡は正確にしてもらいたい。
 (学校からの回答)年度初めの保護者会で、年間行事予定表をお配りしています。社会科見学など、施設の予約の関係でどうしても日程変更を余儀なくされることがありますが、それ以外の変更は基本的にございません。また、月毎の詳細な行事予定については学校便りでお伝えしております。学年ごとの予定表につきましては作成を予定しておりません。学校全体の行事予定表で確認いただけたらと思います。なるべく早く配布できるよう準備を進めていますが、予定が確定してからの配布となるため、月末になることがございました。こちらについては改善の余地があるかと思ひます。来年度は少しでも早く配布できるよう準備いたします。メール配信での連絡も含めて、発信する前に校内で十分に確認をしてからの正確な情報発信に努めます。

〇あいさつについて
 ・児童自らのあいさつにはなっていない。
 (学校からの回答)「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると81%と高い値にはなりますが、そうではないと感じている方もいるのが現状なのだと思います。学校としても満足せずに、学期初めのあいさつ運動を継続するとともに、普段から児童へ声掛けをしながら、気持ちの良いあいさつができる児童を育成していきます。

〇担任について
 ・先生によって児童の学びに差が出ている。
 ・学級によって人数が違うので、担任の負担に違いがある。
 (学校からの回答)経験年数の少ない教員が増えているというのが東京都の現状です。経験年数が「多いから」、「少ないから」ということではなく、教員一人一人が指導技術や児童対応などの力を伸ばしていく必要があります。そのために、OJTをはじめ研修の機会を設けたり、教員が互いにフォローしたりできるように努めます。

〇地域との連携について
 ・何が行われているのかよく分からない。
 (学校からの回答)「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると63%となっていますが、「何が行われているのか分からない」という意見もありました。今年度は地域の方にご協力いただきながら、畑の作業をしたり、商店街を見学させてもらったりしました。6年生のキャリア教育では、数名の方を講師としてお招きし、お話をいただきました。認知度を上げられるよう、ホームページや学年便りを活用しての情報発信を心掛けます。

〇学校統合について
 ・もっと児童の交流を増やしてもらいたい。
 ・学校統合についての情報があまり知らされない。
 (学校からの回答)令和8年度の学校統合に向けて、まずは1・2年生が鶴三小へ行き、校庭や体育館を使って、名刺交換をしたり一緒に遊んだりしながら顔見知りになるところから交流を始めました。来年度は機会を増やし多くの学年で交流できるよう、両校の教務主任を中心に企画・調整しております。行事予定を検討したり、互いに情報交換をしたりするためには、教員間の交流も不可欠であると考えております。スムーズに移行できるよう、準備を進めてまいります。また、学校統合に関する情報につきましては、町田市教育委員会 新たな学校づくり推進課より資料が配布されております。都度お配りしておりますが、市役所や学校のホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。